

ワークキャンプで、築くもの…

親がいない子どもたち、路上で暮らしている子どもたち、教育を受けることができない子どもたち、食事すら十分でない子どもたち…。ボルネオ島・サバ州は、マレーシアの中でも貧困の度合いが最も高い地域と言われており、移民の問題や都市と農村の格差、宗教や民族の違いなどの狭間で、たくさんの子どもたちが将来の希望を見いだせずにいる。

CFF マレーシア「子どもの家」には、それぞれ様々な事情から家族と生活することが困難な子どもたちが暮らしています。子どもたちは家族としてこの家で育ち、未来への可能性を広げています。

ワークキャンプでは、ワークを通して子どもたちが安心して暮らし、夢を持って育っていける環境を築いていきます。そして参加者のみなさん一人ひとりが世界や社会の現状に向き合うことで自分自身も成長していく。

そんな時間をみなさんとともに築いていきます。

Work camp | 3つのポイント

あなたの力が、子どもたちの力になる

ワークキャンプでは、名前の通りワーク（作業）がメインの活動になります。過去には敷地内の道づくりや、CFF マレーシアの豊かな自然環境の中で子どもたちが健やかに育っていけるよう、自然を活かした環境保全型循環農業の農地づくりなどを行っています。小さくても確かな一人ひとりのちからを合わせ、より多くの子どもたちが安全に、そして豊かに育つことのできる環境を築いています。



現地の青年キャンパーと共に築く

キャンプ中はみなさんだけでなく、現地マレーシアの青年キャンパーも仲間として寝食をとめます。ワーク中はもちろん、毎晩のセミナーや休憩中など、英語やマレー語で会話をしながら積極的にコミュニケーションをとっていきましょう。共同生活やボランティアワークを通して、海の向こうに忘れられない大切な仲間ができるはずです。



あなた自身も成長していく

現地の青年たちとの協働、子どもたちとの交流、そして自分以外の誰かのために行動すること。そうやって自分たちの手で、現地の子どもたちにとっても、自身にとっても、有意義なワークキャンプを全力で築き上げる。そんな経験を通して日本では得ることのできない新しい「学び」を得ることができるでしょう。そうして得られる「学び」があなたを成長させ、これからの人生を変えていく確かなきっかけになります。



About Work | 建設作業について

体力にあまり自信がない人でも大丈夫？

ワークキャンプでは、基本的に自分たちで目標を確認しながら、できることをできるだけやります。力仕事や苦手な人や体力に自信のない人は不安かもしれませんが、大切なのは無理をしてやるのではなく、自分ができることを積極的に探して活動することです。日本とマレーシアからの参加者のほかにも、CFF マレーシアスタッフにも手伝ってもらう予定です。現地のキャンパーやスタッフとワーク方針など話し合い、より楽しく、意義のあるワークにしていきたいと思います。

ワークって危なくないの？

ワークの中では、特に危険な機材や道具（電動のこぎりや重機）は使用しません。特別な技術も必要なく、スコップや手押し車を使う作業が中心です。それでも、ふざけながらや注意のない場面では危険がともなってしまうかもしれません。常に気をひきしめて、しかし楽しみながらやりましょう。万一ケガをした時はスタッフが対応し、必要に応じて最寄りの病院を受診します。



Schedules | ワークキャンプの1日

※現時点での予定であり、変更の可能性もあります。

2月9日（日）：関西国際空港集合、いざ、マレーシア！

（利用航空便：MH53 関空9:55 クアラルンプール16:10
MH2638クアラルンプール17:50 コタキナバル20:30）
コタキナバル空港でCFF マレーシアスタッフと合流

2月10日（月）：ミニ・スタディツアー

福祉施設の訪問、貧困移民集落の訪問、マーケット散策など
午後、いよいよCFF マレーシア「子どもの家」へ！

2月11日（火）：ワーク開始！毎晩セミナーを実施

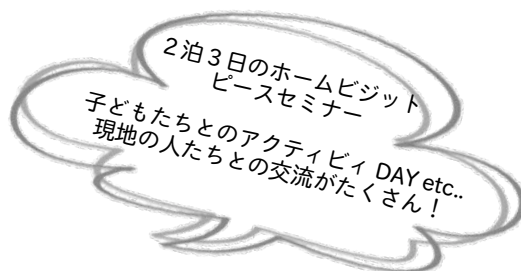


2月12日（水）～19日（水）：ワーク

2月20日（木）：ミニスタディツアー・コタキナバル空港へ

（利用航空便：MH2607 コタキナバル16:45
クアラルンプール 19:10 MH 52 クアラルンプール22:40）

2月21日（金）：5:40 関西国際空港到着、解散



Life in CFF Malaysia | 現地の生活環境

「子どもの家」は、ボルネオ島のコタキナバルという都市から南に40km、車で1時間ほど走ったところにあるパパールという市から、さらに15kmほど奥に入ったリンガンバレー村の一角に位置しています。森や林・草原といった、とても豊かな自然に囲まれた環境です。キャンプ中の多くの時間は、この場所で過ごします。

宿泊場所

キャンプ中は「子どもの家」の敷地内にある“バンブーハウス”（竹で作ったお家）にマットを敷いて、蚊帳の中で寝ます。風が心地よく吹き抜ける過ごしやすい家です。シャワーも完備していますが、村人がするように敷地内の川での水浴び（マンディ）もぜひ体験してみよう！

食事・飲み水

キャンプ中は現地のスタッフがマレーシアの家庭料理を用意してくれます。食事は必ず十分加熱したものを出すようにしています。マレーシアはお米が主食で、日本人好みの味でおいしく食べられます。南国フルーツや3時のおやつもお楽しみに！飲み水は市販の飲料水を用意しています。

その他、洗濯やルールなど・・・

洗濯は自分で行います。晴れていれば2時間もあれば乾きます！下水施設がないので、洗剤も環境に負担の少ないものを使うようお願いしています。子どもの施設ということで、キャンプ中は禁酒・禁煙になります。

キャンプの引率者について



現地では、マレーシア在住日本人スタッフが“ディレクター”という立場で、キャンプ全体の安全管理、通訳などサポートをします。不安なことやわからないことがあったら、何でもお気軽に聞いてくださいね。

現地ディレクター：安部 光彦（CFF ジャパン代表理事、CFF マレーシア理事）

認定 NPO 法人 CFF ジャパン

〒170-0005 東京都豊島区南大塚 3-45-7 ラインビル 301

TEL: 03-5960-4602 FAX: 03-5960-4614

E-mail: info@cffjapan.org <http://www.cffjapan.org>

Caring for the Future Foundation Japan

